

2014（平成26）年度 事業計画書

本年は、公益財団法人としての2年目を迎える。地域の人々や関係各機関・団体と協力しながら、さらに公益性の高い、充実した活動を行っていく。

【公益事業】

いわさきちひろの没後40年である本年は、東京・安曇野両館の開館40周年・20周年を迎える2017年、いわさきちひろ生誕100年を迎える2018年へと繋がる5カ年計画の展望を持って、

- ・国内外ともに、ちひろを好きな人たちに加え、ちひろをよく知らない若い世代や子どもたち等幅広い層を対象に、いわさきちひろの絵と人生、子どものしあわせと平和への願いを伝えるとともに、さまざまな分野のアーティストとのコラボレーションを行うなど、ちひろの新たな魅力の発見に努める。
- ・日本と世界で、絵本の魅力の普及、さらなる絵本文化の確立に努める。

以下の活動を行う。

■絵本等に関する展覧会・講演会の開催

- ・「絵本になった！『窓ぎわのトットちゃん』展」「—世界中のこどもみんなに平和としあわせを—ちひろの願い」等、今の時代にちひろの原点を伝える展示。また、斬新な角度からちひろに光を当てる「いわさきちひろ×佐藤卓＝展」の開催。
- ・コレクション画家の展覧会のほか、ブラジルの画家「ロジャー・メロ展」、日本を代表する絵本画家のスズキコージの展覧会「聖コージズキンの誘惑展」等、企画展の開催。

■絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに、調査・研究

- ・それぞれの展覧会を通じて、絵本の魅力の普及、紹介と絵本研究、作家研究、並びに、研究発表。
- ・本年から3年間の重点活動として、制作後40年以上が経過し、経年劣化を余儀なくされるいわさきちひろの原画の中でも、特に絵本作品のデジタル・アーカイブス。

■絵本等に関する教育活動

- ・没後40年の記念事業
 - ・絵童話『窓ぎわのトットちゃん』の朗読会と対談の集いの開催。
 - ・生前のいわさきちひろを知る人々の証言から、その人生や人柄を紹介する映像展示の実現。
 - ・ちひろの作品の魅力、願いを伝える連続講演会等の開催。等
- ・東京・安曇野それぞれに、近隣の学校や地域の人々との連携強化と、充実した教育活動。

■絵本等に関する普及活動/支援活動

- ・魅力的な絵本や良質の絵本研究書の選書、収集と、レファレンスや読書指導。
- ・東京・安曇野それぞれの地域の子育て支援機関や医療現場と連携した、絵本を通じての支援活動。

■絵本等に関する国際交流

- ・シンガポールで開催されるアジア子どもコンテンツフェスティバル(AFCC)に参加、いわさきちひろ並びに日本の絵本文化の紹介、世界初の絵本の専門美術館としての当館の理念、歴史と活動の紹介。
- ・タイのバンコク市立美術館でのピエゾグラフ作品による「ちひろと日本の絵本展」と講演、WS開催。

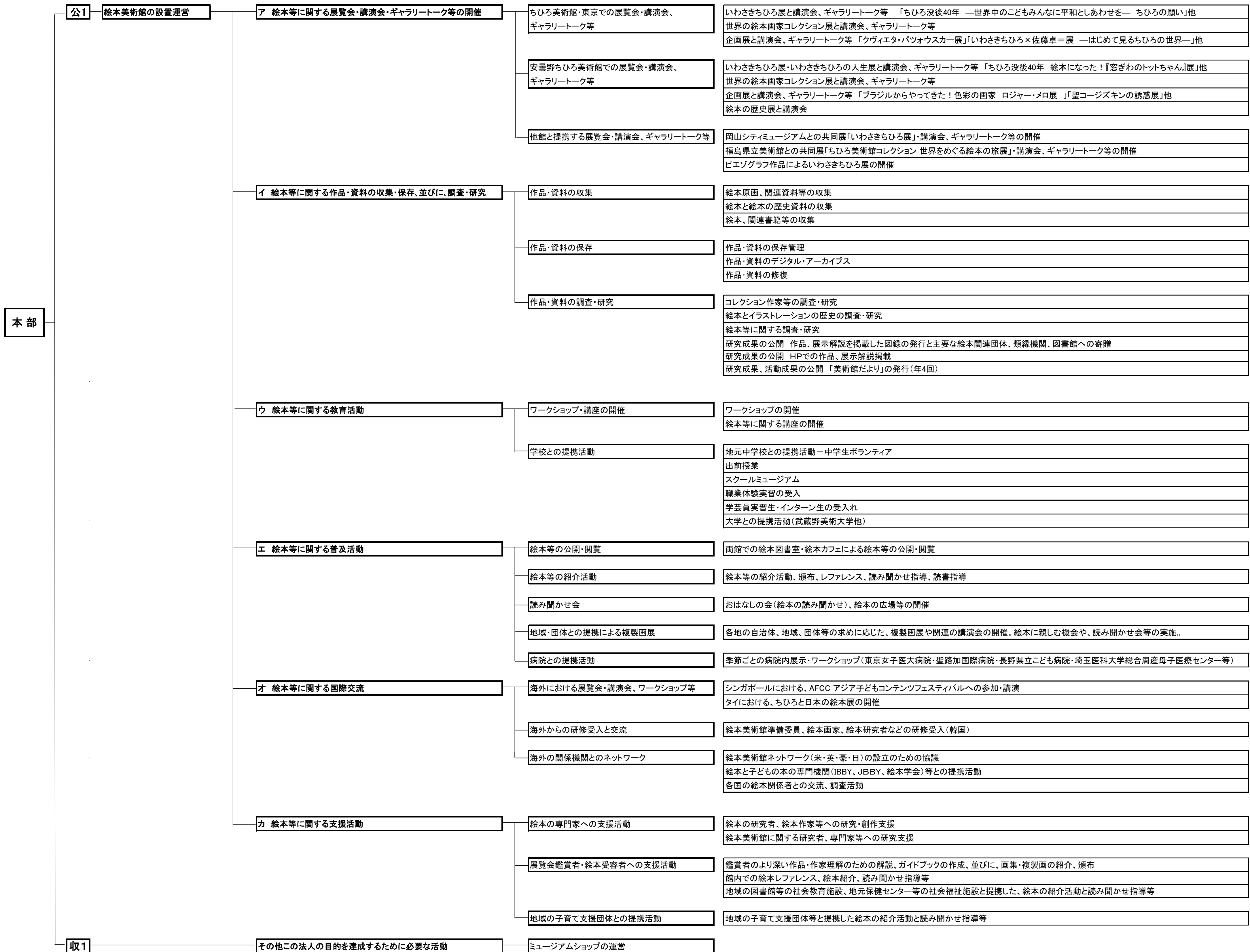
■その他

- ・発足3年目となる支援会員制度の活動充実と普及。支援会員ボランティア活動の始動。

【収益事業】

来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、絵本の専門美術館として長年に渡り絵本と文化に関わってきた独自の視点で、美術館を楽しみ、日々の暮らしを彩り、豊かなものとするような絵本やミュージアムグッズを厳選して取り扱う。あわせて、優れたデザインで安全な素材のおもちゃ、画材等、美術や絵本を楽しむことにつながるグッズ等を取り扱い、魅力的なミュージアムショップの運営を行う。

■2014年度事業計画 事業の体系図



■2014年度事業計画一覧

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所	
ア 絵本等に関する展覧会・講演会・ギャラリートーク等の開催					
ちひろ美術館・東京での展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【ちひろ展】	ちひろ没後40年 ―世界中のこどもみんなに平和としあわせを― ちひろの願い	「世界中のこどもみんなに平和としあわせを」。このことばは、自身の戦争体験に引き寄せ、ベトナム戦争に心を痛めたちひろの切実な願いが凝縮されている。『戦火のなかの子どもたち』など反戦の願いを込めて描いた絵本とともに、子どもたちの命のかがやきを描いた作品の数々を展示する。	3月1日～5月18日	ちひろ美術館・東京
		ちひろ没後40年 ちひろになれる！7つの法則 ―技法徹底解剖―	なにげなく描かれているように見えるちひろの作品にも、実はさまざまな絵画表現の技術と工夫が隠されている。「水の使い方」や「かわいさのひみつ」「色の工夫」「線のテクニック」「引き算の絵本づくり」など、ちひろの技法を7つの視点からひもとく。	5月21日～8月3日	ちひろ美術館・東京
	【世界の絵本 画家コレク ション展】	ちひろ美術館コレクション びっくり！絵本水族館	魚や貝、エビ、タコ、クジラ、ワニ……、さらには、人魚や河童など空想上の生き物にいたるまで、世界各国の絵本画家たちが描いた水の生き物を紹介する。	5月21日～8月3日	ちひろ美術館・東京
	【企画展】	―Paper Talks 紙のおしゃべり― クヴィエタ・パツオウスカー展	85歳となった今もおお欲的に創作を続けるチェコの女性アーティスト、クヴィエタ・パツオウスカー。本展では『すずの兵隊』(1985年)から、近作の『日々の色』(2010年)までの9冊の絵本の原画や、紙の彫刻を中心に、鮮やかな色彩感覚と自由な造形感覚にあふれた世界を紹介する。	3月1日～5月18日	ちひろ美術館・東京
		いわさきちひろ×佐藤卓＝展 ―はじめて見るちひろの世界―	「ロツテキシリールガム」「明治おいしい牛乳」などの商品デザインや、教育テレビ「デザインあ」の総合指導などで注目を集めるグラフィックデザイナー・佐藤卓。佐藤のデザインは、ものの本質を見極め、ものに物語を与え、ものと人とを結びつける。既成の概念にとらわれず、人に新たなものの見方を提示してきた佐藤卓が、ちひろの絵を今の人たち、特に子どもたちに届くよう展覧会をプロデュースする。	8月6日～11月3日	ちひろ美術館・東京
		夢二からちひろへ ―子どもの本の先駆者たち―	大正から昭和にかけて、子どものための教育への関心が高まるなか、新たな子どもの本の文化が花開いた。本展では、自らの芸術を子どもの本にかけた先駆者たち―竹久夢二、岡本帰一、清水良雄、深澤省三、武井武雄、初山滋、村山知義、茂田井武一―の作品とともに、子ども時代に「コドモクニ」の絵に憧れ、第二次世界大戦後から子どもの本の世界で活躍したちひろの作品を展示する。	11月6日～2015年1月31日	ちひろ美術館・東京
	【講演会】	佐藤卓×面出薫×松本猛鼎談 「ちひろとデザイン」を語る	展示開催にあわせ、佐藤卓、面出薫、松本猛が、ちひろの絵と「デザイン」について語り合う。	8月30日	ちひろ美術館・東京
	【ギャラリートーク】	松本猛によるギャラリートーク	いわさきちひろの息子である松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見所を語る。	3月9日、6月15日、10月19日、2015年1月18日	ちひろ美術館・東京
		展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころなどを、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第1、3土曜日	ちひろ美術館・東京
		ファミリーギャラリートーク	展示室で作品を見ながら、子どもと保護者を対象にした対話型のギャラリートークを行う。	4月12日、6月14日、8月23日、11月22日	ちひろ美術館・東京
安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【ちひろ展】	ちひろ没後40年 絵本になった！『窓ぎわのトットちゃん』展	黒柳徹子が子ども時代をつづった『窓ぎわのトットちゃん』(講談社)は、1981年に出版され、戦後最大のベストセラーになった。本展では、絵本『窓ぎわのトットちゃん』の出版にあわせて、いわさきちひろの絵とともに、世界中で愛されているトットちゃんの魅力に迫る。	3月1日～5月13日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ没後40年 ちひろの愛した アンデルセンと宮沢賢治	時代を超えて語り継がれるアンデルセンと宮沢賢治の童話。ちひろも、画家として人として、二人の作品世界に深く共感したひとりだった。本展では、『おやゆびひめ』や『あかいくつ』など、アンデルセンの代表的な童話を描いた絵本や単行本の作品、宮沢賢治の物語を描いた唯一の絵本『花の童話集』などを展示し、ちひろの感性を通して映し出された二人の作家の世界を紹介する。	5月16日～7月22日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ没後40年 ちひろの歩み ―平和を願い子どもを描き続けた画家―	軍属の父を持ち、青春時代を戦時下で過ごし、戦後は画家として、ひとりの母親として、平和への願いを絵筆に託して描き続けたいわさきちひろ。本展では、ちひろの人生とともに、絵雑誌や絵本の作品を展示し、戦後から晩年までの画業の足跡を辿る。	7月25日～9月16日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ没後40年 ちひろの絵本づくり ―表現の可能性を求めて―	生涯にわたって絵本表現の可能性を追求し続けたちひろ。本展では、画家として立つきっかけとなった紙芝居「お母さんの話」から、平和への願いを込めて描いたちひろの最後の絵本『戦火のなかの子どもたち』までを、年代を追って展示し、絵本づくりの全貌を紹介する。	9月19日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろの人生	ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品などを展示、人生を紹介するパネルや生前のちひろを知る人たちの証言映像等で構成し、ちひろの人間像を伝える。	通年	安曇野ちひろ美術館
	【世界の絵本 画家コレク ション展】	ちひろ美術館コレクション 絵本・のりもの博覧会	電車、自動車、飛行機、船、そして、空飛ぶじゅうたん……。本展では、絵本に登場する“のりもの”に焦点をあて、「陸ののりもの」「空ののりもの」「海ののりもの」の3つをテーマに作品を展示。世界の絵本画家たちが描いた魅力あふれる“のりもの”の数々を紹介する。	3月1日～5月13日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ美術館コレクション 世界の画家たちが愛した物語	時代や国境を越えて読み継がれる童話。世界各地で人から人へと語り継がれる民話。本展では、ちひろ美術館コレクションから、アンデルセンやグリム童話、宮沢賢治の童話、ロシア民話など、物語のために描かれた作品を中心に展示し、世界の絵本画家たちの個性あふれる作品の数々を紹介する。	5月16日～7月22日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ美術館コレクション びっくり！絵本動物園	ゴリラ、ライオン、狼、亀、鳥から、想像上の生き物である竜や人魚まで……。絵本には、さまざまな動物が登場する。同じ種類の動物でも、色や形、表情は画家によって異なり、個性豊かに描かれている。本展では、ちひろ美術館コレクションより、画家たちが趣向をこらして描いた、約40種類の魅力的な動物たちを紹介する。	7月25日～9月16日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ美術館コレクション 絵本に耳をかたむけて	わたしたちの生活には様々な音があふれている。目には見えず、留めておけない“音”を、画家たちは、その豊かな表現で作品のなかに響かせている。本展では、ちひろ美術館コレクションから、「音楽」「人の声」「季節の音」などをテーマに、耳をすませば音が聞こえてくるような作品の数々を紹介する。	9月19日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
		絵本の歴史	死者の書や時禱書、絵巻物から20世紀初頭の絵本にいたるまで、絵本とイラストレーションの歴史に関わる作品・資料を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代(印刷本)」の3つの時代に分け、紹介する。	通年	安曇野ちひろ美術館
【企画展】	ブラジルからやってきた！色彩の画家 ロジャー・メロ展	今年サッカーワールドカップが開催されるブラジルで活躍中の絵本画家ロジャー・メロの原画が初来日。100冊以上の絵本の絵を手がけ、自ら文章も書くメロは、その鮮やかな色彩感覚と、斬新なデザインで多くの人を魅了している。本展では、ミュンヘンの国際児童図書館の企画による、12冊の絵本原画と、楽しい立体作品を展示する。	5月16日～7月22日	安曇野ちひろ美術館	

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所	
	【企画展】	聖コージズキンの誘惑展	奇想天外な発想とダイナミックな描写で高い人気を博しているスズキコージ。本展では、絵本画家としての活動に焦点をあてながら、現代美術の作品創作と重なる部分を紹介する。2013年に初めてコレクション作品として収蔵された「やまのディスコティック」や絵本『サルビルサ』などの作品を展示するとともに、学生時代の作品なども紹介し、大胆な作風と、人々を魅了する画家スズキコージを生みだした背景にも迫る。	9月19日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
	【ギャラリートーク】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の展示の見どころなどを、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第2、4土曜日	安曇野ちひろ美術館
他館と提携する展覧会・講演会、ギャラリートーク等		没後40年 いわさきちひろ展	子どものしあわせと平和を願って描き続けた、いわさきちひろの幅広い画業と人生を、代表作約130点と、アトリエの復元、遺品や資料ともに展示、紹介する。	7月18日～8月24日	岡山シティミュージアム
		ちひろ美術館コレクション展 絵本でめぐる世界の旅	ちひろ美術館コレクションから、世界の絵本画家といわさきちひろの作品約150点を、画家たちからのメッセージとともに展示、紹介する。	4月26日～6月1日	福島県立美術館
		ピエゾグラフによるいわさきちひろ展	ピエゾグラフによる複製画展を開催希望自治体、団体、施設と協力をして行う。	6月(予定)	塩尻総合文化センターほか

イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究

作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画の収集を進める。	通年	両館
	絵本と絵本の歴史資料の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進める。	通年	両館
	絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持ち、魅力的な絵本の収集を進める。	通年	両館
作品・資料の保存	作品・資料の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品管理を進める。	通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブス	支持体、画材とも脆弱な水彩画である、いわさきちひろ作品のデジタル・アーカイブスを進める。	通年	両館
	作品・資料の修復	必要に応じて作品や資料の修復を行う。	随時	両館
作品・資料の調査・研究	コレクション作家等の調査・研究	展示等にあわせて、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進める。	通年	両館
	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	展示等にあわせて、絵本とイラストレーションの歴史に関する調査・研究を進める。	通年	両館
	絵本等に関する調査・研究	新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について調査・研究を進め、魅力的な絵本の要素を研究する。		
	研究成果の公開 作品、展示解説を掲載した図録の発行と主要な絵本関連団体、類縁機関、図書館への寄贈	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、「美術館だより」や図録、HPを通じて公開する。また、それら「美術館だより」、図録等は、絵本関連団体、類縁機関、国際子ども図書館等の主要な図書館へ寄贈する。	通年	両館
	研究成果の公開 HPでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、HPにアップする。	通年	両館
	研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(年4回)	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、年4回発行する「美術館だより」やHPを通じて、公開していく。	通年	両館

ウ 絵本等に関する教育活動

ワークショップ・講座の開催	ガーデントーク ちひろの庭の花めぐり	「ちひろの庭」を中心に、作品との関連やいわさきちひろが愛した草花などのエピソードを四季折々に紹介する。	3月30日、6月8日、10月5日、11月23日	ちひろ美術館・東京
	ちひろの水彩技法ワークショップ	いわさきちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。	4月19日、7月26～27日、8月24日、2015年1月2～3日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座1. わらべうたあそび	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、わらべうたあそびの会を開催する。	4月5日、7月5日、9月6日、11月15日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座2. おもちゃのひろば	3歳以上の未就学児とその保護者を対象に、良質なおもちゃとその遊び方を紹介。親子で実際にふれあい、遊ぶことを通じて、豊かな時間を共有する。	4月13日、10月26日、2015年1月18日	ちひろ美術館・東京
	ちひろ美術館・東京 たてもんの探検ツアー	ちひろ美術館・東京の開館記念日にちなみ、館の内外をめぐりながら、建物にまつわるエピソードや、そこに込められた思いを紹介する。	9月10日	ちひろ美術館・東京
	クヴィエタ・パツォウスカー展関連ワークショップ	パツォウスカーの手法に学び、紙を切ったり折ったり描いたりして、紙の町を作るワークショップを行う。	3月29日	ちひろ美術館・東京
	クヴィエタ・パツォウスカー展関連トークイベント「チェコの文化と子どもの本の魅力」	絵本作家の三浦太郎と、チェコセンター所長の高嶺エヴァが、チェコの文化と子どもの本、そしてパツォウスカーの魅力について語る。	4月20日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座3. 針金造形ワークショップ	「針金で作る特大クワガタ」など、針金造形作家・橋寛憲による、針金ワークショップを開催する。	8月17日	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座1 松本由理子講演会「いわさきちひろが願ったこと」	晩年のちひろと出合い、その遺志を継いでちひろ美術館の設立と運営に取り組んできた松本由理子が、平和と子どもの幸せを願い続けた画家・いわさきちひろの絵と人生を語る。	4月6日	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座2 平山知子講演会「ちひろさんとわたし、そして憲法の話」	生前のちひろとゆかりの深い平山知子が、憲法記念日を前に、今の時代にこそ伝えたい、ちひろの生き方の原点と、憲法の大切さについて語る。	4月29日	ちひろ美術館・東京
	ちひろ美術館コレクション びっくり！絵本水族館 関連トークイベント	水の生き物の専門家を招き、自然科学の視点から展示作品を楽しむ。	年1回	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座3 山田真講演会「福島を忘れない(仮題)」	現役の小児科医である山田真が、3.11以降、福島県内で行なってきた医療活動と、今後放射能の問題とどのように向き合って生きていくべきかを語る。	6月7日	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座4 酒井京子講演会「いわさきちひろと紙芝居(仮題)」	ちひろとともに仕事をした編集者であり、また日本独自の文化財である紙芝居文化を国内外に発信する酒井京子が、ちひろの仕事と、紙芝居の魅力語る。	12月6日	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座5 田中満智子親業講演会「親子の心が通い合う、魔法のコミュニケーション術」	「子どもの幸せと平和」のためには、よい親子関係が不可欠。親業訓練では、「子どもの本当の気持ちを聞く」「親の気持ちを話す」「対立を解く」という3本柱で親子のよりよいコミュニケーションを学ぶ。	10月	ちひろ美術館・東京
絵本『窓ぎわのトットちゃん』朗読会	「絵本になった！窓ぎわのトットちゃん展」に関連して、朗読の専門家を招き、朗読を楽しむ。	4月20日	安曇野ちひろ美術館	

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
	絵本『窓ぎわのトットちゃん』朗読と対談の集い	音楽やちひろ作品の映像とともに、『窓ぎわのトットちゃん』の朗読を楽しむ。あわせて、「今の時代に、なぜトットちゃんの世界が愛されつつけているのか」、ちひろが願った「子どものしあわせと平和とは」をテーマに、山田洋次と黒柳徹子が語る。聞き手は、内藤廣。	5月22日	講談社講堂(予定)
	ロジャー・メロと楽しむブラジルのタペ	ロジャーメロ展の関連企画として、ブラジルの食べ物や音楽を楽しむ集いを行う。	6月21日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの水彩技法ワークショップ	いわさきちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。	6月8日、7月下旬～8月中旬、11月16日、11月30日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ没後40年記念講演「長男・猛が語るちひろ」	没後40年の命日に、ひとり息子・松本猛が母・いわさきちひろについて語る。	8月8日	安曇野ちひろ美術館
	スズキコージによる 親子で楽しむワークショップ	スズキコージのライブペインティングと子どものためのワークショップを松川村公民館との共催で行う。	9月20日	安曇野ちひろ美術館
学校との提携活動	地元中学校との提携活動—中学生ボランティア	松川中学校と連携し、夏休み期間中、中学生ボランティアを育成し、来館者を対象にした、当館での体験ワークショップ、展示解説、絵本の読み聞かせ等の活動を行なう。	6月下旬～8月中旬	安曇野ちひろ美術館
	出前授業	いわさきちひろやちひろの技法について、学校等に出向いて出前授業」を企画、実施する。	随時	両館
	スクールミュージアム	長野県下の希望校を対象に、展示会の作り方を指導、複製画等の貸し出しを行い、生徒の力で展示会が開催できるよう生徒キュレーターを育成を行う。	随時	安曇野ちひろ美術館
	教員向け内見会・内見週間の開催	教員を対象とする内見会・内見週間を開催、博学連携の活動を行う。	随時	両館
	職場体験実習の受入れ	練馬区近辺、松川村近辺の中学校からの職場体験実習を受入れ、美術館業務を体験してもらい、博学連携の活動とする。	随時	両館
	学芸員実習、インターンシップ生の受入	学芸員実習希望者の受入と、武蔵野美術大学からのインターンシップの受入	随時	両館

エ 絵本等に関する普及活動

絵本等の公開・閲覧	両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供する。	通年	両館
絵本等の紹介活動	コレクション作家・企画展作家・その他の世界の絵本作家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、HP等で紹介、普及、頒布するほか、どのような絵本を選べばよいのか、どのように読めばよいのか等々、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、日々の暮らしの中で身近に絵本が楽しめるよう支援していく。	通年	両館
読み聞かせ会	おはなしの会(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場等の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれで、定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等からの団体鑑賞に際して、読み聞かせを行っていく。	随時	両館
地域・団体との提携による複製画展	各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展の開催	各地の自治体、地域、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施する。	随時	両館
平和のパネル展	平和のパネルを希望する施設・団体・学校等で掲示	ちひろの平和への願いを伝えるために、平和の絵本2冊のパネルを、希望する施設・団体・学校に貸し出す。	随時	両館
病院との提携活動	季節ごとの病院院内展示・ワークショップ(東京女子医大病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学総合周産期母子医療センター)	来館が難しい病院患者やその家族を対象に、院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設け、各病院からの求めに応じて、院内での読み聞かせ会、水彩技法体験ワークショップ等を実施する。	随時	両館

オ 絵本等に関する国際交流

海外における展覧会・講演会、ワークショップ	AFCC アジア子どもコンテンツフェスティバルへの参加・講演	毎年シンガポールで開催される、アジア子どもコンテンツフェスティバルにおいて、ちひろ美術館やコレクションの紹介を行い、アジアの国々との交流・普及をはかる。	5月30日～6月4日	シンガポール国立図書館
	タイにおける ちひろと日本の絵本展	タイで初めてのピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展と、日本の絵本の歴史の展示を開催する。	2014年11月、12月	バンコク市立美術館(タイ)
	ドイツにおける、巡回ちひろ展準備	ドイツ国内でちひろのピエゾグラフ作品展を巡回するための準備を行う。	2014年秋	ドイツ
海外からの研修受入と交流	韓国の絵本美術館準備委員の視察受入とワークショップ	韓国で絵本美術館建設を構想、計画している団体のメンバーの当館での視察、研修を受け入れ、館の活動や理念を伝え、交流を行う。	2014年春	両館
海外の関係機関とのネットワーク	絵本美術館ネットワーク(米・英・豪・日)の設立のための協議	エリック・カール美術館(米)、セブン・ストーリーズ(英)、ドロマキーン児童図書センター(豪)とともに、絵本文化のさらなる発展をめざして、絵本専門機関の国際ネットワーク作りのために、各館との情報共有を進め、交流を深める。	随時	両館
	絵本と子どもの本の専門機関(IBBY、JBBY、絵本学会)等との提携活動	絵本と子どもの本の国際的な専門機関であるIBBY、並びに、国内の専門機関であるJBBY、絵本学会等との交流を深め、適時、提携活動を行っていく。	随時	両館
	海外の図書館などへの、ちひろの絵本の寄贈	海外の国際交流基金などの日本文化を発信する図書館などに、ちひろの絵本を寄贈し、普及に努める。	随時	両館

カ 絵本等に関する支援活動

絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを吟味した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを吟味した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助ける。	随時	両館
	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ指導等	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に絵本の紹介や、読み聞かせの方法等について指導を行っていく。	随時	両館
	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本が楽しめるよう支援していく。	随時	両館
地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等	地域の子育て支援団体やお母さん方のグループ等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本が楽しめるよう支援していく。	随時	両館